

2017 年度日本社会福祉学会関東地域部会研究大会
オープニング・ワークショップ「ここが知りたい！つながりたい！研究活動」のご案内

1. 趣旨

みなさんは、日頃の研究活動を行っているなかで、「ここは難しいなあ、もっと詳しく知りたいなあ」と感じている部分はありませんか？

今回は、その点についてテーマ毎のグループに分かれて、学会参加者同士で情報交換を行い、今後の学会活動に反映させる機会にしていきたいと考えています。そこには、学会で活動しているベテラン研究者もアドバイザーとして参加します。参加者同士での情報交換にとどまらず、ネットワークを作ることもねらいです。

研究活動に携わる人どうしで、語り合ってみませんか。なお、集約された意見は学会ニュース等で皆様にお伝えするとともに、今後の学会における企画にも反映していきます。
(担当：日本社会福祉学会若手・女性研究者に対する支援検討委員長、立正大学 保正友子)

2. タイムスケジュール

9：30～9：40 趣旨説明・話題提供

9：40～10：30 グループでの情報交換・意見集約

司会者・書記決め

情報交換

- ・簡単な自己紹介
- ・研究活動を行って難しいと感じる点
- ・もっと詳しく知りたい点
- ・それらの点について、これまで自分はどうのように対応してきたのか

3. グループテーマ

以下のグループを考えていますので、大会参加フォームで第 2 希望までのグループを選択してください。なお、人数の多少によりグループの分割または統合を行うことがあります。

グループテーマ	アドバイザー
①質的研究方法 (グラウンデッド・セオリーアプローチ、実践研究)	淑徳大学教授 稲垣美加子
②質的研究方法 (ナラティブ・アプローチ、テキストマイニング)	駒澤大学教授 荒井浩道
③量的研究方法	ルーテル学院大学教授 山口麻衣
④プログラム開発と評価研究	日本社会事業大学教授 大島巖
⑤国際研究	首都大学東京准教授 室田信一
⑥歴史研究	東洋大学教授 金子光一
⑦政策研究	首都大学東京教授 岡部卓
⑧現場との共同研究	日本社会事業大学准教授 贅川信幸